

# 谷地区だより

第2号

2022年4月

矢谷川では、住民の皆さまをはじめ、国・県・町等により河川整備と地域づくりが一体となった治水対策を進めています。

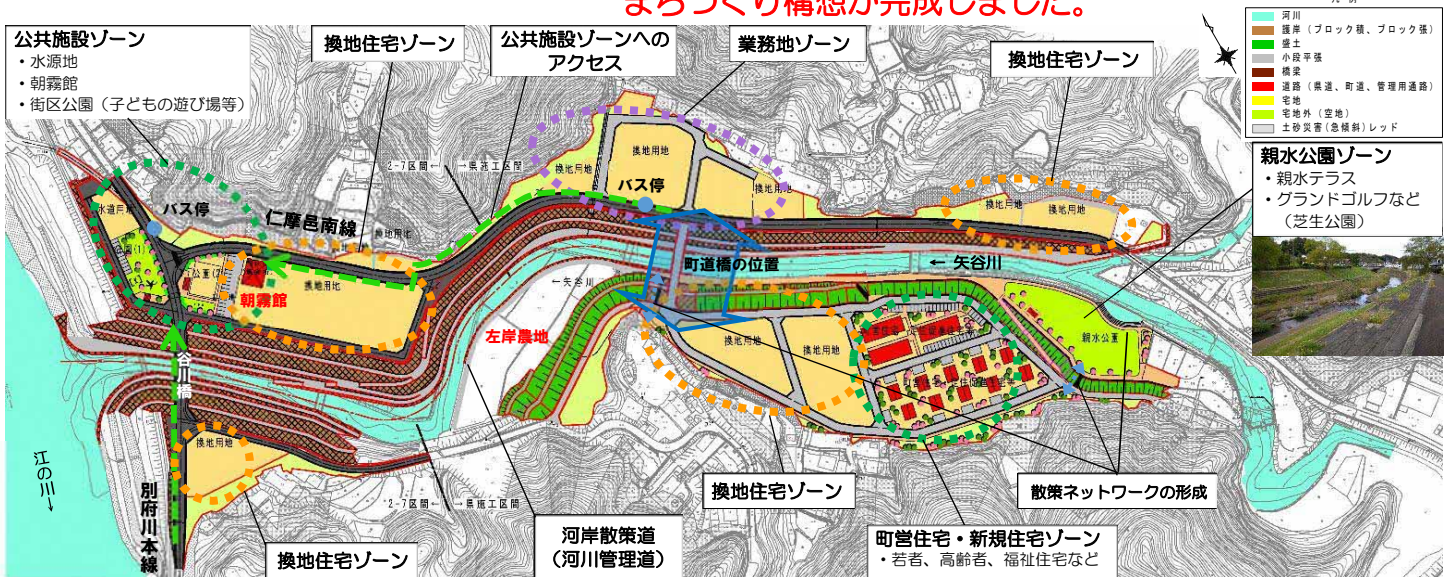


R4年3月1日に朝霧館で地元説明会を行い、34名の方に参加いただきました。内容は、  
1.まちづくり構想の説明と、  
2.家屋移転等に関する個別面談を行いました。



## 1.まちづくり構想の説明

皆さまからいただいたご質問やご意見への回答や説明を行いました。皆さまにご了承いただけましたのでまちづくり構想が完成しました。



**ご意見** 上流の宅地から遠くならないように、朝霧館は現在の水源地あたりが良いと思う。

**回答** ご意見を踏まえて、配置位置をイメージしました。

**ご意見** 谷地区が人口増加することを見据えて、交差点における右折レーンの必要性を検討してほしい。

**回答** 道路構造を定めた基準では、右折レーンは交通量が1時間に200台以上の場合に必要とされています。現在は平均で93台(最大で121台)ですので、将来的に200台までは増加しないと考えます。交差点の形状は、公安委員会との協議を踏まえて決定します。

**ご意見** 新しい谷川橋は江の川の対岸からも見えるので、谷地区が目立つように高欄を朱色にする等検討してほしい。

**回答** 谷川橋の詳細設計を行う際に、ご意見を踏まえて検討します。



**ご意見** 交通量増加を見据えて、谷地区外の県道仁摩邑南線と別府川本線も道路改良してほしい。

**回答** 今後10年間の道路事業の進め方を示した「島根の『つなぐ道プラン2020』」では、優先度や整備期間を考慮しながら、整備箇所を選択と予算の集中を徹底し、早期に効果を発揮させるとしています。管内の事業中箇所や今後の整備が必要な箇所の状況を見ながら判断します。

**ご意見** 左岸農地の地権者から事業に協力すると聞いているので、グランドゴルフ場としての整備を行うなどの使い方を検討してほしい。

**回答** 工事中の迂回路として農地を利用する必要があると考えています。この迂回路を将来的にも活用することで、上流の町道橋が減ることへの心配もなくなります。ご意見を踏まえて詳細検討を行います。

## 2. 家屋移転等に関する個別面談

治水事業に伴い、住居や事業所の移転が必要となる方について、移転先等に関するご意向を伺うため個別面談を行いました。



### 応急対策工事に着手しました

治水事業が完成するまでの応急対策として実施する、大型土のう積やパラペット(コンクリートの壁)を作る工事を始めました。



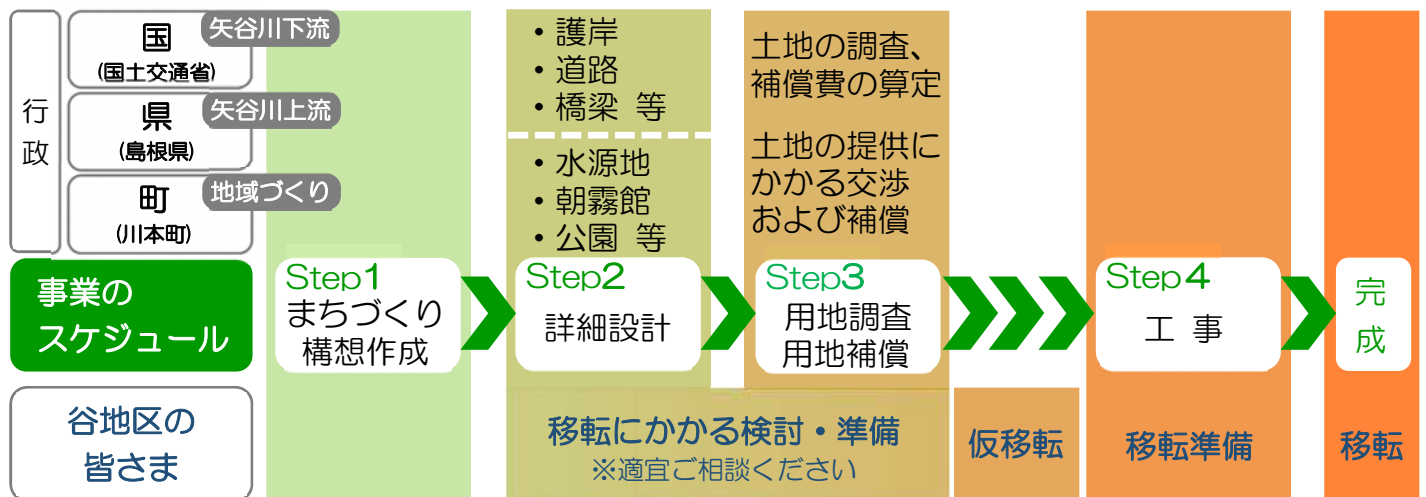
大型土のう積



パラペット

### 今年度の予定

今年度は、事業スケジュールのStep2以降に着手します。引き続き、国・県・町が連携して事業を取り組みます。



昨年度完了

今年度着手

約10年後の完成を目指します

- ☆ 説明会等を随時実施して、皆さまのご意見を伺います。
  - ☆ 島根県県央県土整備事務所のホームページで、事業情報を随時更新しています。
- また、過去の谷地区だよりもご覧になれます。

矢谷川 流域治水 検索